

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅰ(妊娠)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/母性看護学	
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年 5 月	単位数/時間	1 単位/30 時間 妊娠(15 時間) 分娩(15 時間)を合わせて 1 単位	
担当講師名	佐々木美恵	所属・役職	岩手県立釜石病院	
		資格・免許	助産師・看護師	
	千葉勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院	
		資格・免許	助産師 看護師	
授業の概要	妊娠期の妊婦および家族の看護について妊娠期の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、妊婦及び胎児のアセスメント、妊婦の保健指導、家族を含めた看護・看護技術ついて学ぶ			
到達目標	1. 正常な妊娠の経過、妊娠期における母体、胎児の生理的变化について理解し、アセスメントができる 2. 妊婦と家族が健康を保持するための援助や出産・育児に向けた援助を理解する			
事前学習内容	授業内容に関連する範囲の教科書を読んでおく			
成績評価の方法	試験による評価 佐々木先生 50 点、千葉 50 点、合計 100 点			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術			
授業回数	授業概要（主な学習内容）		講師	授業形態
第 1 回	1. 妊娠期における看護師の役割 2. 妊娠の生理		看護教員	講義
第 2 回	1. 妊娠に伴う母体の変化		看護教員	講義
第 3 回	1. 妊娠期の生理的变化に伴う不快症状		看護教員	講義
第 4 回・第 5 回	1. 妊婦と胎児のアセスメント（テキスト母性看護の実際 p 55～） 2. 妊婦の看護にかかわる技術（テキスト母性看護技術 p18～マイナートラブルの対処・切迫早産の入院除く）		県立釜石 病院 助産師	講義
第 6 回	1. 出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護（テキスト母性看護の実際 p 62） 2. 妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント（テキスト母性看護の実際 p 69～）		県立釜石 病院 助産師	講義
第 7 回	1. 出産と子育ての準備の看護（テキスト母性看護の実際 p 85）		県立釜石 病院 助産師	講義
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の役割についての学びを深める ・ 分からない言葉はそのままにせず調べながら学習し、積極的に授業に臨む			

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅰ (分娩)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/母性看護学
開講年次・時期	2年前期 令和4年6月	単位数/時間	1単位/30時間 妊娠(15時間)と分娩(15時間)を合わせて1単位
担当講師名	小笠原 郁美	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師・助産師
授業の概要	分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化を理解し、援助の実際を学ぶ。 また、分娩の進行と産婦・胎児の健康状態、産婦・家族の心理・社会的な問題に 焦点を合わせたアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 正常な分娩の流れとメカニズムを理解し、産婦が満足した分娩となるように 基本的な看護を学ぶ 2. 分娩期を妊娠期から連続的に捉え、分娩期必要な情報を理解する 3. 分娩が産婦やその家族に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響を知りアセス メントできる		
事前学習内容	妊娠期における母子の生理について復習する		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	1) ナーシング・グラフィカ母性看護学② 母性看護の実践 2) ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	1. 分娩期における看護師の役割		講義
第2回	2. 分娩の生理 (1) 分娩に関する定義 (2) 分娩の三要素 (3) 分娩の経過		
第3回	3. 産婦と胎児のアセスメント		講義
第4回			
第5回	4. 産婦のニーズと看護 ・産婦の看護に係わる技術		講義
第6回			
第7回	5. 産婦と家族の心理		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の 役割についての学びを深める ・ 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける ・ 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅱ (ハイリスク)	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/母性看護学
開講年次・時期	2年後期 令和4年12月6日～	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の2単元で構成される ・産褥期：15時間 ・ <u>母性異常：15時間</u>
担当講師名	産婦人科医師	所属・役職	宮古県立宮古病院 産婦人科科長
		資格・免許	医師
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠・胎児・胎児付属物に見られる異常を理解する 2. ハイリスク妊娠の管理に必要な検査を理解する		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩)、母性看護援助論Ⅱ(産褥)で学習した内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実際		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	妊娠期の異常 p94～ ・子宮外妊娠・妊娠維持期間の異常・妊娠に伴う異常・多胎		講義
第2回	妊娠期の異常 p111～ ・合併症を有する妊娠・妊娠期の感染症 ・羊水量の異常・胎盤機能不全		
第3回	妊娠期の異常まとめ		
第4回	分娩期の異常 p168～ ・産道の異常・娩出力の異常・娩出物の異常・児頭骨盤不均衡 ・臍帯の異常・胎児機能不全		
第5回	分娩期の異常 p187～ ・分娩時裂傷・異常出血・産科処置・手術		
第6回	産褥期の異常 p 264～ ・産褥期の出血・血栓症・産褥期の感染症・産褥期の下部尿路機能障害・乳房、乳房トラブル・産褥精神障害		
第7回	産褥期の異常 p 279～ 帝王切開術 産褥期の異常まとめ		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		